

一般社団法人 日本写真測量学会

第64回定時総会

【日時】 令和7年5月29日（木） 15:00～

【場所】 全水道会館 4階 大会議室
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-4-1

【議案】

第1号議案	令和6年度事業報告
第2号議案	令和6年度収支決算・監査報告
第3号議案	令和7年度事業計画
第4号議案	表彰

I. 会員数	(令和6年度末)	(令和5年度末)
正会員	1089	1076
団体会員	18	19
学生会員	68	68
海外会員	1	3
名誉会員	6	7
特別会員	60 (80口)	56 (76口)

II. 事業に関する事項

(1) 学会誌の発行

- ・ 学会誌「写真測量とリモートセンシング」を下記のとおり発行した。

<発行年月日>	<巻 号>	<発行部数>
令和6年 5月10日	63巻 2号	1340部
令和6年 7月10日	63巻 3号	1320部
令和6年 9月10日	63巻 4号	1345部
令和6年11月11日	63巻 5号	1340部
令和7年 1月10日	63巻 6号	1330部
令和7年 3月10日	64巻 1号	1380部

(2) 学術講演会・特別講演会・特別セッションの開催

① 年次学術講演会、特別セッションを下記の通り行った。

日時 令和6年5月23日、24日 ※オンラインと現地とのハイブリッド形式で開催
 場所 東京大学生産技術研究所
 参加者数 231名 講演数 40編
 特別セッション：「当学会の対外協力活動強化に向けた取り組み
 ～衛星リモートセンシングの社会実装に向けた国機関との連携～」

② 秋季学術講演会、特別講演会、特別セッション、巡検を下記の通り行った。

日時 令和6年11月14日、15日
 場所 愛媛県松山市・松山市男女共同参画推進センター ※オンラインと現地とのハイブリッド形式で開催
 参加者数 235名 講演数 73編
 特別講演：「四国地方における人口減少から考える諸問題：廃村・資源管理」講師：渡邊敬逸（愛媛大学准教授）
 特別セッション：「写真測量学会とDX—学会の財政と学会誌を例に」
 巡検：松山城、マイントピア別子、東平銅山産業遺産群など 参加者数23名

③ 支部において学術講演会・特別講演会を下記の通り行った。

- 北海道支部：特別講演会2回（7月30日、11月29日）合計参加者数171名
 学術講演会1回（3月21日） 参加者51名
- 関西支部：特別講演会1回（6月28日） 参加者47名

(3) 関連する調査、研究および資料の収集

- テストフィールド運営委員会にて引き続きテストフィールド維持管理のための活動を行った。

(4) シンポジウム、セミナー等の開催

- 測量・地理空間情報イノベーション大会「測量サミット」に、事前収録動画のオンデマンド配信プログラムで参加した。（配信期間：6月11日～7月21日）
 「衛星リモートセンシングをテーマとした関連学会合同シンポジウムについて」

- 北信越支部 空間情報セミナー3回 (6月28日、9月27日、11月29日)
 - 関西支部 テクニカルセミナー5回 (4月26日、6月28日、10月25日、12月6日、2月7日) 合計参加者数176名
- 若手技術者・研究者による技術研究発表会1回(9月13日) 東京・大阪合計参加者数56名

(5) 講習会の開催

- 本部：手持ちレーザスキャナ (SLAM) 講習会 (7月5日) 参加者数16名
UAV レーザ&写真測量講習会 (9月18日～19日/福島県白河市) 参加者数14名
- 北海道支部：GIS Day in 北海道 (11月30日・共催) 講演会との合計参加者150名
- 関西支部：空間情報学講習会・写真測量編 (8月30日) 参加者29名

(6) その他目的を達成するため必要な事業

① アジアリモートセンシング会議 (ACRS) の表彰事業 (JSPRS Award・Murai Award) への助成を行った。

② 対外協力委員会

- ・令和6年6月～7月に開催された「測量・地理空間情報イノベーション大会」の講演と周辺分野の測量セッションに、事前収録動画のオンデマンド配信プログラムで参加した。(配信期間：6月11日～7月21日)
タイトル：「衛星リモートセンシングをテーマとした関連学会合同シンポジウムについて」
G空間 Expoにおける日本リモートセンシング学会との共同主催によるシンポジウムの過去経緯を紹介したもので、令和7年度からは測量・地理空間情報イノベーション大会での対面型シンポジウム開催を予定している。
- ・昨年度の経済産業省宇宙産業室との意見交換を踏まえ、年次学術講演会で特別セッション「当学会の対外協力活動強化に向けた取り組みー衛星リモートセンシングの社会実装に向けた国機関との連携ー」を開催した。経済産業省、JAXA、国土地理院から登壇者を招いて、今後の当学会と衛星リモートセンシングに関わる国機関との連携強化につながるよう議論を行った。
- ・上記の特別セッションをきっかけに、衛星地球観測コンソーシアム (CONSEO) への会員登録をし、イベントへの参加や当学会の活動紹介を先方HP等で行うとともに、学会誌、メーリングリストを通して会員への情報共有も行った。
CONSEO：地球観測衛星の利用者や出資者を含めた産学官が主体となり、地球観測分野の全体戦略等にかかる提言の策定や、衛星開発・実証及びデータ利用に関する共創並びに新規参入の促進に取り組むことを目的とした団体。
- ・昨年度に引き続き、今後の宇宙開発体制のあり方に関する「タスクフォース会合・リモートセンシング分科会」(TF)の幹事会および2つのワーキンググループ (地球科学研究高度化、実利用) の活動に参加した。なお、地球観測ブランドデザイン C改訂 第三回試行公募(2021-2022) 反映版が発出され、衛星地球観測ミッション第四回追加公募が行われた。さらに、日本リモートセンシング学会第77回 (令和6年度秋季) 学術講演会において、特別セッション「将来の衛星地球観測」が開催され、これまでのTFの歩みと提案されたミッションの紹介、およびさらなる深化への議論がなされた。また、若手・中堅研究者による意欲的な提案ミッション3件に対してFEOS (宇宙から地球観測を考える会) 賞が授与された。

③ 国際協力委員会

- ・委員会を開催し、各国際学会における各国および日本の参加状況の分析や、国際学会に貢献しうる中堅・若手人材へのサポート体制の検討を行った。
- ・ACRS (アジアリモートセンシング会議)
第45回ACRSがスリランカのコロンボで開催された。学会としてShunji Murai Awardを1名に、JSPRS Awardを5名に授与した。第46回ACRSはインドネシアで10月27日(月)～31日(金)に開催予定。
- ・ISPRSの中間年シンポジウムが以下の通り開催された。
Commission I (センサー)：2024/5/13～17 (中国・長沙)
Commission II (写真測量)：2024/6/11～14 (アメリカ・ラスベガス)
Commission III (リモートセンシング)：2024/11/4～8 (ブラジル・ベレム)
Commission IV (GIS)：2024/10/22～25 (オーストラリア・ニース)
Commission V (教育)：2024/8/6～8 (フィリピン・マニラ)

④ UAV安全基準策定委員会

UAVの有視界外飛行が、ルールなどが整備されUAVの国家免許制度が始まり、いわゆるレベル4の運用が始まったが、その実情は整備、機体の認証など不透明な部分もまだ多い状態である。必要に応じて

『測量調査を目的とした小型無人航空機を安全に運航するための手引き』の再改訂を含んだ対応をしていくことを確認した。次年度も米国の動きにも注意を払いながら活動を進めていく予定である。

⑤ 会員へのCPD活動を行った。

1. 学会誌購読 5P
2. 講習会受講 1P/h
3. 講習会講師 3P/h
4. 口頭発表(学術講演会) 2P/件
5. 原著論文執筆・・・単著・筆頭5P/件、共著者2P/件
6. 学協会活動等による社会・業界への貢献等

⑥ 学会賞・学術講演会論文賞等の表彰を行った。令和6年度の表彰は以下の通りであった。

- ・特賞 なし
- ・功労賞(3名) 島村秀樹氏、土居原健氏、井上三男氏
- ・学会賞 なし
- ・学会奨励賞 なし
- ・永年会員表彰(11名)
- ・学術講演会論文賞
 年次学術講演会 論文賞(4名)：平松奏哉氏、長坂新氏、羽賀麻梨子氏、鎌苅章太郎氏
 秋季学術講演会 論文賞(6名)：三村香織氏、加藤亮大氏、筒井駿吾氏、小林亜里紗氏、
 嶋野洸志氏、屋敷村祝彦氏

⑦ 学会の公式ホームページの維持・更新を行った。

III. 処務の概要について

(1) 役員等に関する事項

令和6年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職
会長	非常勤	清水 英範	令和6年5月23日	業務の総括	なし	日本測量協会
副会長	非常勤	長 幸平	令和6年5月23日	国際関連	なし	東海大学
同	非常勤	赤松 幸生	令和6年5月23日	渉外	なし	国際航業
常務理事	非常勤	今井 靖晃	令和6年5月23日	財務	なし	国際航業
同	非常勤	織田 和夫	令和6年5月23日	編集	なし	アジア航測
同	非常勤	中川 雅史	令和6年5月23日	学術講演会	なし	芝浦工業大学
同	非常勤	吉村 充則	令和6年5月23日	国際関連	なし	日本大学
理事	非常勤	大谷 仁志	令和6年5月23日	講習会	なし	コパコン
同	非常勤	小川 健太	令和6年5月23日	講習会	なし	酪農学園大学
同	非常勤	國井 洋一	令和6年5月23日	企画	なし	東京農業大学
同	非常勤	熊谷 樹一郎	令和6年5月23日	企画	なし	摂南大学
同	非常勤	須崎 純一	令和6年5月23日	国際関連	なし	京都大学
同	非常勤	祖父江真一	令和6年5月23日	渉外	なし	宇宙航空研究開発機構
同	非常勤	高木 方隆	令和6年5月23日	表彰	なし	高知工科大学
同	非常勤	竹内 涉	令和6年5月23日	渉外	なし	東京大学
同	非常勤	津留 宏介	令和6年5月23日	企画	なし	アいちず創製
同	非常勤	中野 一也	令和6年5月23日	学術講演会	なし	金沢工業大学
同	非常勤	布施 孝志	令和6年5月23日	事務局長	なし	東京大学
同	非常勤	本多 嘉明	令和6年5月23日	部会	なし	千葉大学
同	非常勤	山下 恵	令和6年5月23日	渉外	なし	東京農工大学

監事	非常勤	武田 浩志	令和6年5月23日	監査	なし	国際航業
同	非常勤	新名 恭仁	令和6年5月23日	監査	なし	アジア航測
同	非常勤	李 勇鶴	令和6年5月23日	監査	なし	パスコ (現：日本大学)

(2) 職員に関する事項

職名	常勤・非常勤	氏名	担当事務	備考
事務局長	非常勤	布施 孝志	業務の総轄	東京大学
職員	常勤	岩下 典子	編集・庶務・会計	

(3) 会議等に関する事項

① 総会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年5月23日 16:20-17:10 東京大学 生産技術研究所 An棟2階コンベンション ホール	総会出席者(正会員) 691名(委任状による出席含む) 1. 令和5年度事業報告・収支決算報告・監事監査報告について 2. 令和6年度事業計画について 3. 令和6年度表彰;特賞、功労賞、学会賞、学会奨励賞授賞の報告・表彰、永年継続会員の報告・表彰 4. 役員改選	承認 報告 報告 承認

② 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年4月30日	1. 令和5年度事業報告及び収支決算報告について 2. 会員の入会・退会の承認 3. 表彰委員会より 4. 各委員会より	承認 承認 報告 報告
令和6年5月23日	1. 会長・副会長・常務理事の互選 2. 理事の業務分担、事務局長、各委員長の指名 3. 評議員の選出	承認 承認 承認
令和6年11月14日	1. 来年度の秋季学術講演会開催地について 2. 対外協力委員会活動報告 3. 国際協力委員会活動報告 4. その他委員会より	報告 報告 報告 報告
令和7年3月13日	1. 令和7年度事業計画案について 2. 令和7年度収支予算案について 3. 永年会員表彰について 4. 学会誌の電子化について 5. ISPRS 第III部門立候補について 6. 各委員会、各支部からの報告	承認 承認 報告 報告 報告 報告

③ 編集委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年5月9日	1. 新委員の紹介 2. Vol. 63 No. 3の編集について 3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 4. 学会誌電子化についての意見交換	確認 検討・確認 討議・確認 討議・確認
令和6年7月12日	1. Vol. 63 No. 4の編集について 2. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について 3. 学会誌電子化・論文数増加についての意見交換	検討・確認 討議・確認 討議・確認

令和6年9月11日	1. Vol.63 No.5の編集について	検討・確認
令和6年11月1日	2. 新論文の査読者の選定について	討議・確認
	3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	討議・確認
	1. 新委員の紹介	確認
令和7年1月11日	2. Vol.63 No.6の編集について	検討・確認
	3. 新論文の査読者の選定について	討議・確認
	4. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	討議・確認
	5. 次年度の表紙について	検討
	1. Vol64の表紙について	決定
令和7年3月17日	2. Vol.64 No.1の編集について	検討・確認
	3. 新論文の査読者の選定について	討議・確認
	4. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	討議・確認
	1. Vol.64 No.2の編集について	検討・確認
	2. 新論文の査読者の選定について	討議・確認
	3. 小特集企画・巻頭言執筆候補者について	討議・確認
	4. 学会賞・学会奨励賞の推薦者について	討議・決定

④ 学術講演会実行委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年5月24日	1. 年次学術講演会の運営について	確認
令和6年8月28日	2. 秋季学術講演会に向けてのスケジュールについて	確認
	1. 秋季学術講演会の開催方法・概要・準備について	確認
	2. 秋季学術講演会プログラム編成と司会・審査者の選定	確認
	3. 秋季学術講演会の特別セッションについて	確認
令和6年11月15日	4. 来年度の秋季学術講演会開催地について	検討
	1. 秋季学術講演会の運営の振り返りについて	確認
令和7年3月10日	2. 年次学術講演会の準備について	確認
	1. 年次学術講演会の概要・準備について	確認
	2. 年次学術講演会プログラム編成と司会・審査者の選定	確認
	3. 年次学術講演会の特別セッション、企業展示について	確認
	4. 秋季学術講演会の準備状況について	確認

⑤ 表彰委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年3月17日	1. 令和7年度表彰について 特賞：該当者なし 功労賞：吉野邦彦氏、森宣彦氏 学会賞：該当者なし 学会奨励賞：田中優也氏	選考・推薦・決定

⑥ 文献抄録委員会

開催月日（すべてE-mail会議）	議事事項	会議の結果
令和6年4月3日～4月23日	学会誌 vol.63 no.2 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和6年6月3日～6月21日	学会誌 vol.63 no.3 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和6年8月1日～8月23日	学会誌 vol.63 no.4 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和6年10月4日～10月22日	学会誌 vol.63 no.5 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和6年11月5日～12月19日	学会誌 vol.63 no.6 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認
令和7年2月2日～2月25日	学会誌 vol.64 no.1 向け文献抄録本・論文の検討	検討・確認

(4) 許可、認可、承認、証明等に関する事項
特記事項なし

(5) 契約に関する事項

契約年月日	契約相手方	契約の概要
令和6年4月～令和7年3月	昭和情報プロセス（株）	学会誌の印刷（年6回）

<追記>

（令和6年度事業報告の附属明細書について）

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

一般社団法人日本写真測量学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,510,997	5,083,808	427,189
現金	83,953	67,621	16,332
普通預貯金	4,215,992	1,046,900	3,169,092
通常貯蓄会	1,211,052	3,969,287	△ 2,758,235
未収会費	286,000	278,000	8,000
未収図書金	127,596	144,508	△ 16,912
未収入金	71,500	246,322	△ 174,822
流動資産合計	5,996,093	5,752,638	243,455
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	44,540	44,540	0
投資有価証券	34,166,697	34,166,697	0
基本財産合計	34,211,237	34,211,237	0
(2) 特定資産			
京都国際会議特定預金	10,693,347	11,536,785	△ 843,438
国際学会関連特定預金	794,183	606,234	187,949
投資有価証券	17,091,905	17,091,905	0
特定資産合計	28,579,435	29,234,924	△ 655,489
(3) その他固定資産			
建物附属設備	110,000	110,000	0
減価償却累計額	△ 28,865	△ 21,495	△ 7,370
電話加入権	57,092	57,092	0
その他固定資産合計	138,227	145,597	△ 7,370
固定資産合計	62,928,899	63,591,758	△ 662,859
資産合計	68,924,992	69,344,396	△ 419,404
II 負債の部			
1. 流動負債			
未前払受金	106,668	149,814	△ 43,146
前受会費	94,000	97,000	△ 3,000
預り金	121,000	84,000	37,000
未払法人税等	14,310	14,520	△ 210
未払消費税	332,600	304,500	28,100
未払流動負債合計	210,200	0	210,200
流動負債合計	878,778	649,834	228,944
負債合計	878,778	649,834	228,944
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	34,000,000	34,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(34,000,000)	(34,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(34,046,214)	(34,694,562)	△ 648,348
(うち特定資産への充当額)	(211,237)	(211,237)	0
(うち特定資産への充当額)	(28,579,435)	(29,234,924)	△ 655,489
正味財産合計	68,046,214	68,694,562	△ 648,348
負債及び正味財産合計	68,924,992	69,344,396	△ 419,404

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

一般社団法人日本写真測量学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	(86,380)	(86,380)	(0)
基本財産受取利息	86,380	86,380	0
特定資産運用益	(70,584)	(65,314)	(5,270)
特定資産受取利息	70,584	65,314	5,270
受取会費	(10,632,000)	(10,481,000)	(151,000)
正会員受取会費	7,882,000	7,791,000	91,000
学生会員受取会費	380,000	380,000	0
特別会員受取会費	2,370,000	2,310,000	60,000
事業収益	(5,571,338)	(5,092,924)	(478,414)
受取学会誌	1,353,340	979,800	373,540
受取学術講演会	2,668,500	2,416,800	251,700
受取出版物	25,498	93,324	△ 67,826
受取講習会	1,095,000	1,174,000	△ 79,000
受取広告	429,000	429,000	0
受取テストフィールド	0	0	0
雑収益	(2,263,850)	(1,676,082)	(587,768)
受取利息	2,478	25	2,453
雑示収	1,127,500	1,237,500	△ 110,000
雑収	1,133,872	438,557	695,315
経常収益計	18,624,152	17,401,700	1,222,452
(2) 経常費用			
事業費	(14,542,909)	(13,729,523)	(813,386)
学会誌発行事業費	(4,282,222)	(4,444,479)	(△ 162,257)
通信運搬費	435,896	444,507	△ 8,611
印刷製本費	3,432,946	3,585,245	△ 152,299
雑費	413,380	414,727	△ 1,347
学術講演会費	(3,581,805)	(2,954,813)	(626,992)
出版物	(16,912)	(39,660)	(△ 22,748)
講習会	(822,067)	(1,022,059)	(△ 199,992)
テストフィールド	(0)	(0)	(0)
その他事業費	(5,839,903)	(5,268,512)	(571,391)
給法旅行通信品活動費	2,674,000	2,590,000	84,000
定費福交利	504,553	483,636	20,917
旅通信運通搬	153,804	153,804	0
消耗品	517,272	483,189	34,083
国際学会活動	73,943	74,145	△ 202
国内守活	811,903	606,506	205,397
保表印	302,302	279,202	23,100
彰刷製本	91,700	234,616	△ 142,916
印製本	197,229	244,456	△ 47,227
雑費	513,197	118,958	394,239
管料手費	(4,729,591)	(4,324,359)	(405,232)
給法旅行通信品	1,146,000	1,110,000	36,000
定費福交利	184,216	178,048	6,168
旅通信運通搬	65,916	65,916	0
消耗品	219,674	204,464	15,210
印刷製本	34,567	31,379	3,188
賃借	21,544	39,607	△ 18,063
租税	1,320,000	1,320,000	0
法保支	220,650	0	220,650
減保支	332,600	304,500	28,100
償守	7,370	7,370	0
報	129,558	119,658	9,900
支	770,000	660,000	110,000
雑費	277,496	283,417	△ 5,921

経常費用計	19,272,500	18,053,882	1,218,618
当期経常増減額	△ 648,348	△ 652,182	3,834
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 648,348	△ 652,182	3,834
一般正味財産期首残高	34,694,562	35,346,744	△ 652,182
一般正味財産期末残高	34,046,214	34,694,562	△ 648,348
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	34,000,000	34,000,000	0
指定正味財産期末残高	34,000,000	34,000,000	0
III 正味財産期末残高	68,046,214	68,694,562	△ 648,348

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
移動平均法による原価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
移動平均法による原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
建物附属設備：定額法
什器備品：定率法
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	44,540	0	0	44,540
投資有価証券	34,166,697	0	0	34,166,697
小 計	34,211,237	0	0	34,211,237
特定資産				
京都国際会議特定預金	11,536,785	156,562	1,000,000	10,693,347
国際学会関連特定預金	606,234	1,000,402	812,453	794,183
投資有価証券	17,091,905	0	0	17,091,905
小 計	29,234,924	1,156,964	1,812,453	28,579,435
合 計	63,446,161	1,156,964	1,812,453	62,790,672

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	44,540	44,540	0	—
投資有価証券	34,166,697	33,955,460	211,237	—
小 計	34,211,237	34,000,000	211,237	—
特定資産				
京都国際会議特定預金	10,693,347	0	10,693,347	0
国際学会関連特定預金	794,183	0	794,183	0
投資有価証券	17,091,905	0	17,091,905	0
小 計	28,579,435	0	28,579,435	0
合 計	62,790,672	34,000,000	28,790,672	0

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債			
1. 基本財産			
利付国債（10年）第341回	34,166,697	33,935,400	△ 231,297
2. 特定資産			
利付国債（10年）第359回	11,085,470	10,437,900	△ 647,570
利付国債（20年）第182回	6,006,435	5,134,200	△ 872,235
合 計	51,258,602	49,507,500	△ 1,751,102

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、その内容を省略

収 支 計 算 書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

一般社団法人日本写真測量学会

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	《 90,000 》	《 86,380 》	《 3,620 》	
基本財産利息収入	90,000	86,380	3,620	
特定資産運用収入	《 70,000 》	《 70,584 》	《 △ 584 》	
特定資産利息収入	70,000	70,584	△ 584	
会 費 収 入	《 10,140,000 》	《 10,632,000 》	《 △ 492,000 》	
正会員会費収入	7,560,000	7,882,000	△ 322,000	
学生会員会費収入	300,000	380,000	△ 80,000	
特別会員会費収入	2,280,000	2,370,000	△ 90,000	
事 業 収 入	《 6,480,000 》	《 5,571,338 》	《 908,662 》	
学 会 誌 収 入	2,000,000	1,353,340	646,660	
学 術 講 演 会 収 入	2,640,000	2,668,500	△ 28,500	
出 版 物 関 連 収 入	100,000	25,498	74,502	
講 習 会 収 入	1,250,000	1,095,000	155,000	
広 告 収 入	430,000	429,000	1,000	
テストフィールド収入	30,000	0	30,000	
ソフトウェア収入	30,000	0	30,000	
雑 収 入	《 1,591,100 》	《 2,263,850 》	《 △ 672,750 》	
受 取 利 息 収 入	1,100	2,478	△ 1,378	
展 示 収 入	1,250,000	1,127,500	122,500	
雑 収 入	340,000	1,133,872	△ 793,872	
事業活動収入計	18,371,100	18,624,152	△ 253,052	
2. 事業活動支出				
事業費支出	《 14,240,100 》	《 14,525,997 》	《 △ 285,897 》	
学会誌発行事業費支出	《 4,600,000 》	《 4,282,222 》	《 317,778 》	
通信運搬費支出	500,000	435,896	64,104	
印刷製本費支出	3,900,000	3,432,946	467,054	
雑 支 出	200,000	413,380	△ 213,380	
学 術 講 演 会 費 支 出	《 2,645,000 》	《 3,581,805 》	《 △ 936,805 》	
出版物関連費支出	《 60,000 》	《 0 》	《 60,000 》	
講習会費支出	《 977,600 》	《 822,067 》	《 155,533 》	
テストフィールド費支出	《 30,000 》	《 0 》	《 30,000 》	
その他事業費支出	《 5,927,500 》	《 5,839,903 》	《 87,597 》	
給料手当支出	2,660,000	2,674,000	△ 14,000	
法定福利費支出	480,000	504,553	△ 24,553	
臨時雇賃金支出	10,000	0	10,000	
会議費支出	10,000	0	10,000	
旅費交通費支出	210,000	153,804	56,196	
通信運搬費支出	520,000	517,272	2,728	
消耗品費支出	85,000	73,943	11,057	
国際学会活動費支出	950,000	811,903	138,097	
保守料支出	320,000	302,302	17,698	
表彰関連費支出	200,000	91,700	108,300	
印刷製本費支出	220,000	197,229	22,771	
雑 支 出	262,500	513,197	△ 250,697	
管 理 費 支 出	《 4,930,000 》	《 4,722,221 》	《 207,779 》	
給料手当支出	1,140,000	1,146,000	△ 6,000	
法定福利費支出	190,000	184,216	5,784	
旅費交通費支出	70,000	65,916	4,084	
通信運搬費支出	200,000	219,674	△ 19,674	
消耗品費支出	30,000	34,567	△ 4,567	
印刷製本費支出	30,000	21,544	8,456	
賃 借 料 支 出	1,320,000	1,320,000	0	
租 税 公 課 支 出	230,000	220,650	9,350	
法人税住民税等支出	500,000	332,600	167,400	
保守料支出	150,000	129,558	20,442	
支払報酬支出	770,000	770,000	0	
雑 支 出	300,000	277,496	22,504	
事業活動支出計	19,170,100	19,248,218	△ 78,118	
事業活動収支差額	△ 799,000	△ 624,066	△ 174,934	

II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	《 950,000 》	《 1,812,453 》	《 △ 862,453 》	
国際学会関連預金取崩収入	950,000	812,453	137,547	
京都国際会議特定預金取崩収入	0	1,000,000	△ 1,000,000	
投資活動収入計	950,000	1,812,453	△ 862,453	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	《 151,000 》	《 1,156,964 》	《 △ 1,005,964 》	
国際学会関連特定預金支出	1,000	1,000,402	△ 999,402	
京都国際会議特定預金支出	150,000	156,562	△ 6,562	
投資活動支出計	151,000	1,156,964	△ 1,005,964	
投資活動収支差額	799,000	655,489	143,511	
当期収支差額	0	31,423	△ 31,423	
前期繰越収支差額	10,707,190	4,958,296	5,748,894	
次期繰越収支差額	10,707,190	4,989,719	5,717,471	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費、前払金、未収入金、立替金、未払金、前受金、前受会費、預り金、未払法人税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	5,083,808	5,510,997
未 収 会 費	278,000	286,000
未 収 入 金	246,322	71,500
合 計	5,608,130	5,868,497
未 払 金	149,814	106,668
前 受 金	97,000	94,000
前 受 会 費	84,000	121,000
預 り 金	14,520	14,310
未 払 法 人 税 等	304,500	332,600
未 払 消 費 税 等	0	210,200
合 計	649,834	878,778
次期繰越収支差額	4,958,296	4,989,719

令和7年5月14日

監査報告

一般社団法人 日本写真測量学会

監事 武田浩志 

監事

監事

令和6年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 武田浩志は実施事業会計を中心に、監事 新名恭仁はその他会計を中心に、監事 李勇鶴は法人会計の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

令和7年5月14日

監査報告

一般社団法人 日本写真測量学会

監事

監事

新名恭仁 

監事

令和6年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 武田浩志は実施事業会計を中心に、監事 新名恭仁はその他会計を中心に、監事 李勇鶴は法人会計の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

令和7年5月14日

監査報告

一般社団法人 日本写真測量学会

監事

監事

監事

李勇鶴 

令和6年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 武田浩志は実施事業会計を中心に、監事 新名恭仁はその他会計を中心に、監事 李勇鶴は法人会計の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

I. 事業に関する事項

① 学会誌の発行

- ・学会誌「写真測量とリモートセンシング」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻号	発行部数
令和7年 5月10日	64巻2号	1320部
令和7年 7月10日	64巻3号	1320部
令和7年 9月10日	64巻4号	1320部
令和7年11月11日	64巻5号	1320部
令和8年 1月10日	64巻6号	1320部
令和8年 3月10日	65巻1号	1320部

② 学術講演会・特別講演会の開催

- ・年次学術講演会を下記のとおり行う。

【日時】 令和7年6月12日(木)～13日(金)

【場所】 東京大学生産技術研究所 An棟 コンベンションホール・会議室

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1

参加予定者数 200名 講演数46編

※第64回定時総会は、5月29日(木)15:00～(年次学術講演会とは別日)

全水道会館 大会議室にてハイブリッド形式で開催

(〒113-0033 東京都文京区本郷1-4-1)

- ・秋季学術講演会を下記のとおり行う。

【日時】 令和7年11月20日(木)～21日(金) / 22日(土) 巡検

【場所】 山形県山形市「山形テルサ」3階 アプローチ

〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-3

参加予定者数 220名 講演数60編(予定)

- ・支部において特別講演会・学術講演会、セミナー等を行う。

○ 北海道支部：特別講演会2回(7月・10月)、学術講演会1回(3月)

○ 北信越支部：空間情報セミナー3回、特別講演会1回

○ 関西支部：テクニカルセミナー5回(うち1回は特別講演会)、技術研究発表会1回(9月)

③ 関連する調査、研究および資料の収集

- ・引き続きテストフィールドの維持管理を実施する。

④ シンポジウム、セミナー等の開催

- ・「測量・地理空間情報イノベーション大会」において、シンポジウムを開催。

『衛星リモートセンシングシンポジウム2025～「衛星データ利用の最新動向」』

(日本リモートセンシング学会と共同主催)

【日時】 令和7年6月18日(水)13:30～15:50

【場所】 東京大学伊藤国際学術研究センター ギャラリー1

⑤ 講習会の開催

- ・ 手持ちレーザスキャナ講習会 (7月4日)
- ・ UAV レーザ写真測量講習会 (9月18～19日)
- ・ 関西支部：空間情報学講習会 1回 (8月1日)

⑥ その他目的を達成するため必要な事業

- ・ ISPRS 国際活動への協力を行う
- ・ ACRS (アジアリモートセンシング会議) への協力 (JSPRS Award・Murai Award) を行う
- ・ 他学協会・機関との対外交流のため、対外協力委員会の活動を継続して行う。
- ・ ISPRS、ISRS (International Symposium on Remote Sensing) 等の国際学会への取り組みや人材育成を図るため、国際協力委員会の活動を継続して行う。
- ・ 会員のCPD活動の支援を行う。
 1. 学会誌購読 5P
 2. 講習会受講 1P/h
 3. 講習会講師 3P/h
 4. 口頭発表 (学術講演会) 2P/件
 5. 原著論文執筆・・・単著・筆頭5P/件、共著者2P/件
 6. 学協会活動による社会・業界への貢献等 (ポイント数は活動内容による)
- ・ 特賞・功労賞・学会賞・奨励賞・永年会員・学術講演会論文賞等の表彰を行う。
- ・ 学会 Web の更新 (学術講演会・論文システムの更新他) を行う。

II. 処務の概要

① 会議等に関する事項

- (1) 常務理事会・・・2回 (令和7年5月14日・令和8年3月)
- (2) 理事会・・・3回 (令和7年5月14日・11月20日・令和8年3月)
- (3) 評議員会・・・1回 (令和7年・開催月は未定)
- (4) 総会・・・1回 (第64回定時総会：令和7年5月29日)
支部総会・・・各1回 (令和7年6月 (北信越、関西))、7月 (北海道支部))
- (5) 編集委員会・・・6回 (令和7年5月・7月・9月・11月・令和8年1月・3月)
- (6) 学術講演会実行委員会・・・4回 (令和7年6月12日・8月・11月21日・令和8年3月)
- (7) 表彰委員会・・・1回 (令和8年3月)
- (8) 文献抄録委員会・・・6回
- (9) 講習会実行委員会・・・1回
- (10) 国際協力委員会・・・5回
- (11) 対外協力委員会・・・2回
- (12) UAV 安全基準策定委員会・・・3回

② 許可、認可、承認、証明等に関する事項

特になし

以上

令和7年5月29日

日本写真測量学会 令和7年度学会各賞の受賞者

会長 清水英範

表彰委員会及び理事会での審議の結果、令和7年度学会各賞の受賞者を以下の通り決定いたしました。なお、授賞理由として、表彰状に記す文章を添えさせていただきます。

【特賞・功労賞・学会賞・学会奨励賞 受賞者】

■ 特賞： なし

■ 功労賞（2名）：

吉野 邦彦 氏

貴殿は長きにわたり 本学会会員として写真測量とリモートセンシングの研究開発に尽力し我が国のこの分野の発展に貢献されました また 編集委員会の委員等として 本学会の活動の推進に大きく寄与されました

ここに貴殿の功績を讃え 日本写真測量学会功労賞を授与いたします

森 宣彦 氏

貴殿は長きにわたり 本学会会員として写真測量とリモートセンシングの研究開発に尽力し我が国のこの分野の発展に貢献されました また 理事 評議員 関西支部の役員等を歴任され 本学会の活動の推進に大きく寄与されました

ここに貴殿の功績を讃え 日本写真測量学会功労賞を授与いたします

■ 学会賞：なし

■ 学会奨励賞

田中 優也 氏

貴殿は「素因と誘因を考慮した土砂災害発生確率モデルと深層学習を併用した被災箇所早期検知モデルに関する研究」に意欲的に取り組まれ 優秀なる論文を発表されました ここにその努力を讃えるとともに 今後いっそう研究に励まれることを期待して 日本写真測量学会 学会奨励賞を授与いたします

【永年会員表彰者】

●50年会員（5名）

朝倉 堅五氏 飯田 純男氏 大江 安世氏 小泉 俊雄氏 瀬戸島 政博氏

●40年会員（8名）

稲葉 和雄氏 遠藤 州氏 大谷 仁志氏 木下 章氏 熊谷 義則氏
住田 英二氏 村上 広史氏 吉野 邦彦氏

●30年会員（14名）

明野 和彦氏 穴井 哲治氏 小谷 英司氏 佐藤 健二氏 史 中超氏
白水 寿一氏 中川 和男氏 兵頭 竜二氏 藤野千和子氏 村松加奈子氏
八木 俊之氏 柳 秀治氏 山本 浩万氏 若林 裕之氏

以 上